挑　戦

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO．３２　令和4年1月7日　発行

教育目標　　(み)自ら学び　(な)仲間とともに　(み)未来を切り拓く生徒の育成
キーワード　３つのCha　～　Chance　Challenge　Change　～

人数は少ないですが，部全体ではコンクールで県大会を目指しています。毎日楽しいけれど，ただ楽しいだけでは成長はありません。厳しい中にも楽しさが見つけられる，そんな雰囲気の部活にしていきたいです。また，私個人の目標としてクラリネットが上達するように基礎練習をしっかり積み重ね，苦手な高域の音程もきれいにとれるようにしたいです。

学業については，まず具体的な目標としてテストの点数を今より３０点上げるため勉強時間を増やし，自分でも気付かなかった弱点を見つけ，そこを徹底的に取り組むというものにします。毎日なんとなく終わってしまう日をその目標のために努力する毎日にしていかなければなりません。受験はもっと遠いものだと思っていました。受験を意識するようになって焦りを感じています。受験は毎日努力をした結果だと思います。何をしようか，何を始めようか，なぜ間違えたのか，なぜ正解したのか，と毎日考えることで疑問も生まれ，理解も深まっていくと信じています。時にはやめてしまいたいと思ったり，なまけてしまいたいと思ったりします。それでも受験まで限られた時間の中で，限りのない努力をすることで志望校に合格できるようにしたいと思います。幸い時間はあります。

２年生から最高学年の３年生に進級するにあたり，何をするのか，気持ちの準備，様々な準備をする大切な時期です。正直まだぼやけているところもありますが，必ず決めた目標に向かって気持ちや行動や考えを成長させていきます。常識にとらわれず，当たり前にとらわれず，自分で考えて行動していきたいと思います。

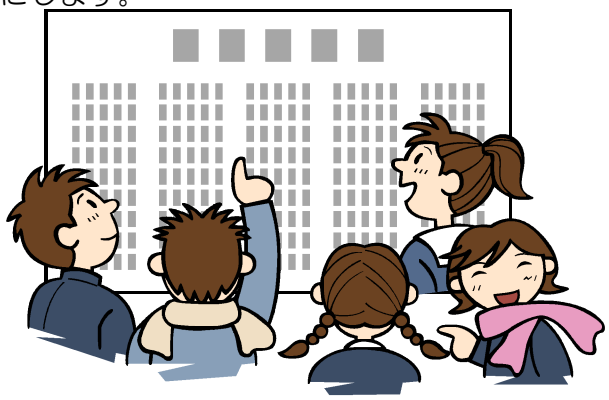
３学期の抱負

３年　西村　悠花

早いもので３学期を迎え，私たち３年生にとっては，卒業目前となりました。今までを振り返ると，さまざまな思い出がよみがえってきます。

最後の総体に挑んだ１学期。テニス部でたくさん練習をしてきたのに，思うような結果を残すことができませんでした。自分自身の弱さを実感しました。新たなことに挑戦した２学期。私は校外学習の実行委員になりました。修学旅行の代替として，みんなが待ち望んでいた行事だったこともあって，期待に応えられるか不安もありました。「最高の思い出になった。」と言ってもらえて，やりがいがあったと感じました。南中祭や合唱発表と行事が続き，これまで思い通りにならず我慢をしてきた思いが喜びへと変わっていきました。そんな私たちの目の前に，卒業，受験という大きな壁が迫ってくるのを今，感じています。今までの私は，いろいろなことに不安になり，なかなか一歩を踏み出すことができずにいました。しかし，２学期に挑戦した経験から，先を想定しておくことの大切さを学びました。私は自信をもって受験に臨めるように２つの準備をすることにしました。

１つ目は「勉強の準備」です。毎月の実力テストと過去問をたくさん解いたことで，出題傾向がつかめてきました。どんな問題がでても対応できるように重要な語句を覚えるだけでなく，時間配分や，自分の考えを書く問題形式を考えました。さらに苦手なところをもう一度復習し，本番では，自分の力を最大限に発揮できるようにします。



２つ目は「心の準備」です。焦りや緊張で，ケアレスミスをしたり，問題をよく読まなかったりして間違うことがあります。本番で，焦らないようにするために，自信をもつことが大切だと思います。よい点数がとれると，またそれも自信につながるので，日頃の学習から準備を進めておきたいです。

これらの２つの準備は，高校生になる準備でもあると思います。３年生全員が１つのチームとなり，仲間を支え，力を出し切りたいです。そして人生の大きな選択の準備をし，最高の卒業式を迎えたいです。